

わくらす

吉祥寺北町 5 丁目に建設中の障害者支援施設の名称を定めました。「**障害者地域生活ステーション わくらす武蔵野**」です。これは複数の案から武蔵野市長が決めて下さったものです。「わくらす」とは「ワーク」と「暮らす」を合わせたもので、どんなに障害が重くても社会とつながる「しごと(=ワーク)」ができるように、そして地域とのつながりの中で「わたしらしくくらす」ことができるように、そういう思いを込めた名称です。

入所型の施設の歴史をたどると、大規模な「収容」から小規模な「生活」施設へ、そして地域での暮らしという流れを見ることができます。かつてのアメリカでは数百人から千人を超すような大規模な「収容」施設がつくられていました。それに対して人権という視点から様々な訴えや行動が起きます。掲げられたキーワードは「**Dignity is**」。これは「個人として尊重され、その人らしく暮らす」ことを求めるという意味です。

考えてみればこれは障害のある人に限らず、すべての人に大切なことと言えます。しかし 2 年前の相模原の施設ではそれを否定するような思想によって事件が引き起こされてしまいました。あの時の驚愕と戦慄を忘れることはできませんが、支援にあたる者として希望を語り、実践しなければならないと考えます。これまでの様々な取り組みの意義を引き継ぎ、「わくらす」で暮らす人々の活動が共生する社会のひとつの姿になることを私どもはめざしたいと思います。

建設工事により近隣の皆さまには大変ご迷惑をおかけしております。まことに申し訳ございません。どうぞよろしく願いいたします。

(平成 30 年 8 月)